

2011年8月9日

～ハインズブランド ジャパン株式会社～
【通年で、プリント加工業務の一部を被災地・宮城県へ発注】

中長期的な復興に向け、被災者の自立的な生活基盤回復の一助として

- ・宮城県でプリント加工した Hanes T シャツを第 1 弾として、9 月上旬よりオンラインストアで発売
- ・2012 年春夏シーズン以降、新製品のプリント加工を継続して委託

ハインズブランド ジャパン株式会社(所在地:東京都新宿区、代表取締役社長:平野友彦)は、2011年9月上旬より、同社が運営するハインズ公式オンラインストアで、去る3月の東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)で被災しながらも、その後早期に操業を再開した宮城県仙台市のプリント加工工場でプリントを施したTシャツ(3型/2色)を発売します。さらに、来たる2012年春夏シーズン以降、「チャンピオン」と「ハインズ」ブランドの新製品で、プリント加工が必要となるアイテムの一部について、継続的に、他の宮城県のプリント加工会社に発注していく方針を決定しました。

同社では、東日本大震災発生直後より、米国本社と連携し、被災地において物資配布を行う救援組織を通じて、「ハインズ」や「チャンピオン」の肌着/Tシャツやスウェットシャツ(トレーナー)/スウェットパンツ、「プレイテックス」等の女性用肌着(ブラジャー/ショーツ)など、総額2.2億円相当(希望小売価格換算)の自社衣料品を救援物資として無償提供しました。

その一方で、同社では今回の震災の復興には長い年月を要することを想定し、物資や義援金などの支援のみならず、中長期的に被災地域での雇用創出による、被災者の自立的な生活基盤回復が不可欠になると判断。

4月上旬から、被災地における縫製工場やプリント加工工場などの被災からの復旧状況の確認を始め、4月中旬に宮城県仙台市のプリント工場に、今回オンラインストアで発売するハインズプリントTシャツのプリント加工を発注しました。



9月上旬より、ハインズ公式オンラインストアで発売される
宮城県でプリント加工を施した Hanes T シャツ
(3型 X2色、計6タイプ サイズ:S/M/L/XL 価格:¥1,000・・・税込価格)

同社では、この初回発注以降も被災地域における業務発注先を拡大すべく、宮城県東京事務所などを通じて、情報を収集。現在展開中の「Hanes 誕生 110 周年記念キャンペーン」(2011 年 7 月 11 日から 8 月 19 日まで)の賞品用に企画した、宮城県気仙沼地方に昔から伝わる風の図柄「天旗(てんぱた)」を取り入れたヘインズ T シャツのプリント加工も、宮城県庁から紹介を受けた仙台市のプリント加工会社『ムラタック』に発注しました。



『ムラタック』でプリント加工された Hanes 誕生 110 周年記念キャンペーン賞品
「気仙沼天旗 T シャツ」



「気仙沼天旗Tシャツ」にプリントされた
伝統的な風の柄『日の出旗』

さらに『ムラタック』に対しては、今後、受注～生産過程に入る、2012 年春夏シーズン向け新製品でプリント加工が必要となる商品の一部を発注することを皮切りに、それ以降の各シーズン新製品のプリント加工業務も継続的に発注していく方針です。

こうした被災地の自立的な生活基盤回復を目的としたヘインズブランド ジャパンの取り組みについて、宮城県東京事務所所長の菅原 久吉氏は「県内には規模の小さなプリント加工工場や縫製工場がかなりある。今回の大震災で多くの工場が被災し、震災以降の受注減が深刻化している中、このように来年以降の受注が確実に見込める商談は雇用の創出や地域経済の復興の面からも大変ありがたい。被災企業の希望となる。」とコメントしています。また来春の新製品から、プリント加工の一部を受注することとなった『ムラタック』の代表取締役 村田 繁氏は「被災企業への支援策としての発注は復興への弾みをつける意味で、ありがたい。ただそのことに甘んじることなく、今回の受注で実績を示し、より長く、より多くのプリント加工をヘインズブランド社や、様々な企業から受注できるよう努力したい。それが復興への道だと思う」と述べています。

被災地の一日も早い復興を心より祈念申し上げるとともにヘインズブランド ジャパン株式会社として、引き続き全力をあげて支援してまいります。

この件に関するお問い合わせ先

ヘインズブランド ジャパン株式会社

マーケティングサービス部

担当: 今井 TEL :03-5361-2824